



# まなび通信

京都府中丹教育局  
第172号  
令和3年3月23日

## 未来の教育について語ろう ～私が理想の学校を創るなら～

令和3年3月9日(火)に副校長・教頭を対象に「第2回中丹はぐくみたい力育成会議」を行いました。

VUCA WORLDにおいて、子どもたちにはぐくみたい力とは、そのためにどんな学校を創りたいのかを交流し、学校運営における視野を広げました。

### キーワード

- ① 地域とともにある学校
- ② 地域課題の解決
- ③ 誰一人取り残さない



### ～振り返りより～

・国や府の動向を踏まえ、それらを教職員にそのまま押しつけるのではなく、日々の学校運営・教育活動の中に浸透させていく意識が大切である。自校で実施できる点を絞り、どんな利点があるのかを語り、前向きに取り組める教職員集団を育てていきたい。

### 諏訪好晴局長 講話

「これからの管理職に望むこと」

- ① 職員とのコミュニケーション
- ② 危機管理
- ③ 明確なビジョン

1年を振り返り、感染症予防対策を含め、様々に工夫しお世話になった。これからも変化を前向きに受け止め、学校運営に当たってほしい。



### 京都府教育庁指導部学校教育課

柳澤彰紀首席総括指導主事 講演

## 「令和の日本型学校教育の構築に向けた今後の方向性」

- 新学習指導要領の理念を現場で**授業改善レベルまで落とし込んで定着させる**こと。その際、ピクトグラムを指導案に明記し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて意識化する手法もあること。
- 学校だけでなく、地域住民等と**連携・協働し、学校と地域がパートナーとして一体となって子どもたちの成長を支えていく**こと。
- 学校教育の質の向上に向けた**ICTの活用を図る**こと。「質の向上」とは、「身に付けさせたい力を身に付けさせる」という質である。
- 小学校教科担任制の導入**が、日本の教育変革の起爆剤になりうること。さらに、今後保護者への理解や、学力との相関などエビデンスを大切にすること。



### 西山由美総括指導主事 講演

「令和3年度中丹教育局の方向性」

#### 【取組の重点】

- ① 人権教育の充実・推進
- ② 課題解決型学習の推進
- ③ 教員のICT活用指導力の向上



令和3年度中丹はぐくみたい力育成会議

## テーマ「人権教育の充実・推進」

これまでから私たち教職員はあらゆる教育活動を通して人権教育を推進しています。このような中、京都府教育委員会は**人権教育の一層の充実**を図るため、令和元年11月に「人権教育に関する教職員の意識調査」を実施しました。その結果を受け、人権教育の充実が**喫緊の課題**と捉え、令和3年度中丹教育局学校教育の取組の重点の一つとします。

**教職員研修の充実を図るために、  
「人権教育推進計画書」の見直し・充実を！**

職員室の長として

**気配り・心配り・人材育成を！**